

News

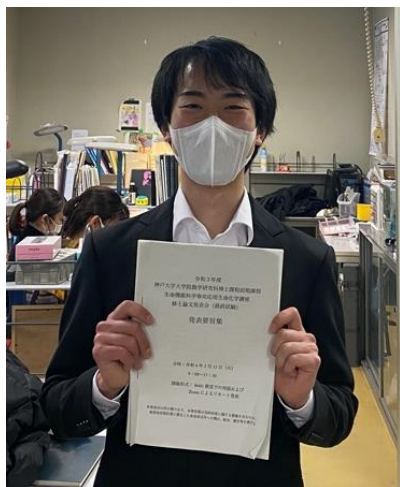
3回生配属決定

2月8日(火)、3回生の研究室配属が決定し、挨拶のため研究室に訪れてくれた。新4回生は5名(男子3名・女子2名)である。正式には4月から研究室からの所属となるが、来月の卒業論文発表会でも自己紹介をしてもらう予定なので、今から楽しみである。

2021年修士論文発表会

2月15日(火)に2021年度神戸大学大学院農学研究科博士課程前期課程生命機能科学専攻応用生命化学講座の修士論文発表会が行われた。本研究室では、竹本孝多(M2)が発表を行った。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、対面で発表する学生とオンラインで発表する学生がおり、竹本はオンラインでの発表を行った。発表直前まで何度も発表練習を行っていたこともあり、非常に落ち着いて発表出来ていたように感じた。



発表を終えて記念撮影。発表終了後に、無事終わった安堵と開放感からか、自然と笑みが溢れていた。

《修士論文タイトル》

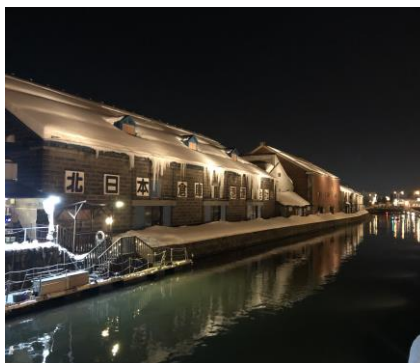
オルニチンの体内濃度および肝細胞に及ぼす影響に関する研究

フリースペース

今月のフリースペースはM2の楊筆さんに書いてもらいました！初めて北海道に行った際の思い出を語ってくれました！

日本初体験の北海道之旅

『小樽雪あかりの路』は、北海道の古い街並みをキャンドルの灯火が優しく照らす幻想的なイベントです。日が暮れる17時から辺りが真っ暗になる21時まで、小樽運河や手宮線跡地をメイン会場として市内全域で、手作りのあたたかい灯りがまちを包み込みます。このイベントを是非見てみたいと思い、今年の2月に私は小樽に行きました。

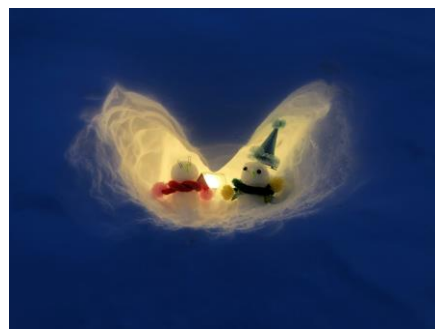


夜の小樽運河

小樽の街は想像していた以上に綺麗で本当に驚きました！道にはたくさんの雪だるまがあり、神戸にはない風景だったので楽しかったです。



トトロのような雪だるま



ボランティアスタッフが作ったアイスキャンドル



札幌出身のマイマイという観光客が自分の願い“コロナに負けない！小樽大好きです！”と紙カップに書いて作ったキャンドルの明かり。

北海道の味覚の一つといえば、ウニです！このような噂を何度も聞いていたので、北海道のウニを是非食べてみたいと思い、三色丼を注文しました。北海道産のウニは醤油をかけなくてもいいぐらい、ウニそのものだけで満足できるほど濃厚で甘くてとろとろ、ふわふわでした。



三色丼

翌日、温泉に入る猿の姿を見るために、函館熱帯植物園に行きました。スノーモンキーと呼ばれ海外メディアにも取り上げられていて外国人からも人気が高いスポットです。



温泉に入る猿

温泉に入って満足そうな表情をしていたお猿の姿は本当に面白かったです。

私は中国の出身でこのような日本のお祭りに参加するのは初めてです。これからも日本でもっと日本文化を体験して美しい思い出を作りたいです。

編集後記

年度末が近づき、自分もめ皆さん慌ただしい日々が続いています。そんな時こそ自分だけでなく周りの人へ気を遣って、皆で気持ちよく年度を締め括りたいと考えています。

重房俊哉(B4)